

えんてい

応援します! 《極地研》

【連載】国立極地研究所
「調べたい」に応える

2

立川と語ろう 立川に生きよう
February 2010
écoutez bien Vol.28 No.303



続々・立川から見える山 ⑦

案内人：守屋龍男
山岳展望図：藤本一美

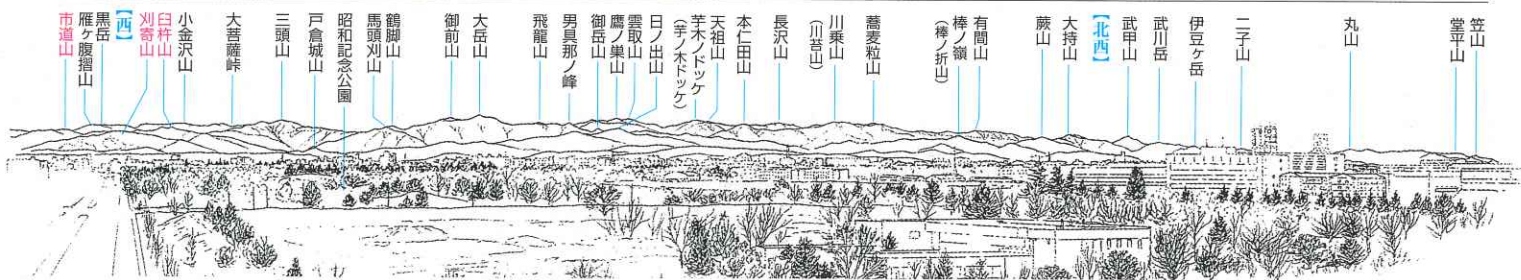
戸倉三山

刈寄山 市道山 白杵山

(かりよせやま)
687m

(いちみちやま)
795m

(うすきさん)
842m



多摩モノレール 立川北-高松間より

歩きがい十分な縦走コース

【戸倉三山へのコース】

五日市駅まで、電車で30分、沢戸橋までバスで10分。
沢戸橋→40分→登山口→40分→刈寄山→3時間→
市道山→1時間40分→白杵山→1時間20分→在郷バス停。
バスで30分ほどで武蔵五日市駅（歩行時間 約7時間20分）。



あきる野市戸倉地区の盆堀川流域には標高800メートル前後の山々が幾つかぐるりと取り巻くように聳えている。そのうち顕著な三つをとくに戸倉三山といって一回りできるように縦走路も整備されている。奥多摩入門の山々ということで名を売ったせいか、軽い気持ちで入山する人が多いが、どうして、なかなか厳しい。アップダウンが続く難路である。立川からは三頭山の左下のほうに丸い頂が見える。

梅の香漂う3月初旬にいつものグループで登った。沢戸橋から林道を歩き、碎石場の入口付近の登山道に入る。すぐに、道は溪流の中を行くようになる。水量の多い梅雨時などは要注意だ。そのあとはスギ、ヒノキの植林地の急登である。花粉が飛び始めた中を息を切らして登る。コナラやミズナラの樹木が目立ってくるとほどなく刈寄山頂である。休憩舎がありそばに二等三角点がひっそり立っている。展望がすばらしく西に富士山、東に遠く筑波山が見えた。

次の市道山へは一旦大きく下り、入山峠で登り返し、鳥切場（昔、野鳥を網で捕まえた場所）を通過、アップダウンの激しい峰見通りと呼ばれる尾根道をひたすら歩く。かなり体力的にまいった頃、ようやく市道山に着いた。ここで昼食。高年の男性、中年の女性と、それぞれ単独行の人が登ってきた。

三つ目の白杵山へは、これまた大きく下りアップダウンを繰り返しながら標高を上げ、最後の岩の痩せ尾根をよじ登るとやっと着く。昔のろし台があったといわれる山頂は、今は樹木が育ち、展望はない。少し先に小祠（蚕の神を祭った白杵神社）のあるピークに行く。ネコそっくりだという狛犬があったがどうみてもネコには見えない。そばに新しいオオカミの石像が2体置いてあった。

ここからは急坂を1時間ほど下る。膝がかなり痛くなった頃ようやくバス停に着いた。



「塚」ってな～に？ 見に行ってみよう。

東京文化財ウィーク〈塚つかウォーク2009〉

立川と
語ろう

「塚」で思い出すのは小学生の頃に習った「貝塚」。それから「富士塚」「蟻塚」「庚申塚」。「首塚」というのもよく聞く名前。いったい「塚」ってなんだろう？

2009年11月7日、秋晴れの空の下、東京文化財ウィークに日野市内の塚めぐり〈塚つかウォーク2009〉が行われたので行って来た。

コースは多摩モノレール 万願寺駅を出発。「万願寺一里塚」から、日野自動車(株)の敷地内にある「上人塚」、「日野台一里塚」、コニカミノルタ(株)内「富士塚」を見て、富士電機(株)「まつり塚」を見て解散という約6時間の行程だった。

江戸幕府が日本橋を基点に街道を整備し、一里ごとに塚を築かせたのは17世紀初めのこと。400年も前に盛られた土が今もそこに残る「甲州街道万願寺一里塚」①。モノレールが真上を走るこの塚は、当時の甲州街道がどこを通っていたかを物語り、江戸から九里目。大名行列が通ったり、旅人が塚の樹木の陰に日差しを避けたりしたに違いない。日野市の調査によれば、この塚は直径9m、高さ3mと一里塚の基準通りなのだという。

途上いくつか文化財を廻りながら、日野自動車敷地内の「上人塚」②へ。人が塚を作ると丸くなるのが常。この方形の塚は、その形自体に意味があるという。江戸時代初期の文書に「請人塚」の記録があることから江戸時代には存在していたとされているこの塚は、戦国時代に美濃国より日野に移り住んだ佐藤単人の業績をたたえたものと言われ、その業績を記した書類を作成し日野の台地に埋めて榎を植えたとされている。しかしまた、一説にはタヌキが高僧に化けて旅人をだましたという伝説から「上人塚」というようになったという説もある。いずれにしても調査の結果、塚の土質や周溝の状態から、この塚は新・旧・古の3期に渡って存

在していたと考えられている。現在は盛土の上に草が生えないよう、シートで覆ってある。

企業の中にある塚はなかなか見学する機会がない。コニカミノルタ内にある塚は、「富士塚」③と呼ばれるもので、直径25m、高さ5m、土質は褐色粒子を混入した黒い土。古い時期の「上人塚」とそっくりなのだろう。調査の結果では富士信仰との関連ははっきりしないという。ランドマークだったことは確かだろうだが、「塚」とはまったく不思議なものだ。

最後に訪れたのは、富士電機構内にある「まつり塚」④。旧平山村と豊田村の村境にあたり、道きりの行事を行っていた場所。富士電機入り口からすぐのところ松が見える。周囲を石で囲まれて整備されてあるが、およそ「塚」という言葉からは想像できない、まるで庭の一部のようだ。村境のこの塚には、昔、松の根本に土台が築かれ、数基の石仏が安置、道切りの注連縄を張って外界からの悪霊の侵入を防いでいた。逆に村の中にある疫病神などはここまで送って来て放していたと言われる。そのために「まつり塚」と呼ばれるようになった。

変わらない地形の上に過ごす者の生活は、日々クルクルと様子を変える。今となっては「塚」が作られた理由もわからず、その役割も終わってしまったようだけれど、昔を知ることからしか未来は見えてこない。少なくとも、毎日お世話になる地元の歴史は、知っておいて損はない。そんな風に感じた秋の一日だった。



坂下地藏



共同製粉所



万願寺一里塚



上人塚



富士塚



まつり塚



「調べたい」に応える

極地のことならここが一番! 極地研情報図書室

立川のアカデミックゾーンの中でも究極アカデミックな雰囲気を漂わせているのがここ。建物の1階にある3つの図書室。

国文学研究資料館と統計数理研究所、それに国立極地研究所の図書室が結集。その中から今回は極地研の情報図書室、早川係長と南山さんにお話をきいた。

案内人 早川順子 国立極地研究所 情報図書室 図書係長

プロフィール

2003年4月より極地研図書室に赴任。図書館情報大学卒業後、麻布大学附属図書館に就職、その後、一貫して研究系図書館勤務。出向、転任が多く、この図書室は8か所目。「実母からの人物評(奇跡の人)が、頓に思い当たる年頃」だそう。

案内人 南山泰之 国立極地研究所 情報図書室 図書係

プロフィール

神奈川県出身。国立極地研究所に採用され、図書係として勤務しつつも2年前には庶務担当として第49次南極地域観測隊夏隊へ参加。帰国後は再び情報図書室へ戻り、図書業務に従事。



—こういうお仕事につくということは、やはり本がお好きなのでしょうね。

早川 それは当たり前過ぎますね(笑)。私の場合は本が好きというより読むことが好きです。家族がみんな読むことが好き(活字中毒)で、欠乏すると昔は母が無料カタログをもらってきてそれを読んだりしていました。

—すごい! 極地研の図書室の特徴は?

早川 私はここに来て7年目なのですが、極地に関する研究者ではありませんので、特にその

ことに詳しいわけではありません。そういう私でもきちっと整理されていれば探すことができます。ノウハウに則って整理することが図書館の技術なのですが、そのことがきちっとされている。それがこの図書館の特徴です。

—そうでないということもあるわけですか?

早川 並べられ方が時系列だったり、あるべき場所が分かれていたり。後から直しようもなく、そのままの場合が多いです。半端な集められ方だったり。本は世の中に出たときにピックアップしないと、コレクションとして集められません。常にアンテナを張ってタイムリーにピックアップする力と、ピックアップしたものをカタログングして、例えば背にタイトルを貼ってその場所に並べる。この両方が常にできないと図書館は維持継続できません。ここは前任の方が素晴らしい技術をもった方で、きちんとしてありました。ですから本が紛れてどこかに行ってしまうということや、(極地の情報が必ずあるので)突然探しにきた方でも失望させてしまうということがありません。

—7年前まではまったく別分野の図書館だったわけですから、そういう意味では着任してあらゆる勉強をしなければならなかったということでしょうか?

早川 そうですね。でもひとつの技術を持っていれば、ある程度の応用は効くようになります。人文系と自然科学系では多少違う面もあり

ますが、(図書館司書として)資料を整理して公開する点では同じです。

—早川さんもアンテナを張ってピックアップするわけですね?

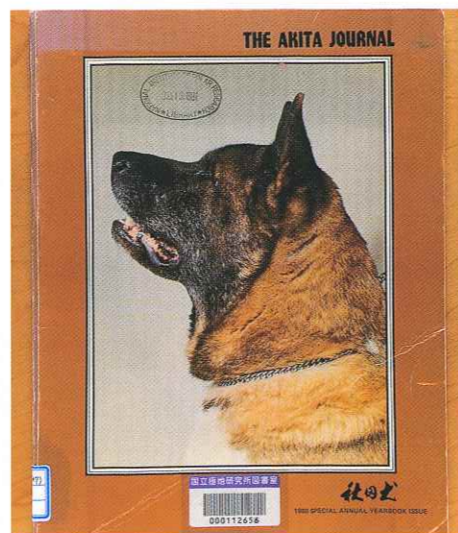
早川 そうですね。極地研というと南極北極の本しかないと思われがちですが、ここでは大きく分けて4つの分野があります。その分野の集合体ということで参考文献なども含めているような本を集めます。

—そうなんとずいぶん幅が広いですね。

早川 そうですね。自然科学全般を扱うという感じです。

—この本は「秋田犬」という本なんですね。

早川 はい。THE AKITA JOURNALと言いまして、秋田犬のことを書いてあるんですけど、書いたのはアメリカ人。この号では、タローとジロー、今は南極に犬は持ち込めませんが、観測隊が連れて行った犬のことが書いてあります。ディズニー映画の「南極物語」は犬の結び方とかをいかに丁寧に映していましたが、ここにも犬の結び方が書いてあり、どうやらこれを読んだのではないかと思います。英語で書かれたタロー&ジローのお話ということでこの本も置いてあります。



—こちらは?

早川 これは前任の方が大事にいらした文庫からです。南極観測が始まる前から発足していた「日本極地研究会」というのがあります。谷口さんという方と木村さんという方が設立したのですが、お二人は拓殖大学在学中に登山などをされていて白瀬さんのことを知ったそうです。そこから白瀬さんにお会いになって、白瀬さんを会長に始まった会なんですね。木村さんは南極の探検について突出した資料を集めていらして、お持ちになっていた中から200冊程こちらに寄贈くださいました。それを木村義昌文庫として保管しています。



—図書室の役割としてはジャーナルを出版することも重要なお仕事だそうですが。

早川 はい。科学者としてはジャーナルに投稿することが最も重要なことです。ただ特殊な分野ですので、分野が細すぎて認知度の高いジャーナルにはなかなか採用されないということもあります。ですので研究所で出版するということが大事になります。図書館司書というのはメインでやる仕事は少なく、サポート、媒介者の立ち位置ですね。

—サポート的な目で見ると、日本の極地研究をどのように思われますか?

早川 論文数は多いです。極地研が関わっている地球科学の分野で超メジャーなジャーナルがあるのですが、そこに極地研の先生方が多く投稿され、採用されています。

—スタッフも少ないし、大変なお仕事ですね。

早川 最近わかってきたんですけど、何事も

のめり込んじゃいけないって(笑)。のめり込んじゃうと突き詰めてしまったり上がりが早くなってしまったり。どんなことにもいい面と悪い面があるし、直情型に走ってしまうと跳ね返ってきてしまうということもわかって、この図書室も何件目かの仕事先ですが、始めからアクセル踏みすぎないようにやろうとしてきました。

—早川さんは京都のご出身と聞きましたが、息抜きは何をなさるんですか?

早川 お茶のお稽古だったり。お茶は19年続けています。それから時々お琴を弾いたり。実家が着物の商売をしていて、和的なので選択肢が他になかったんですね。お正月なんて大変でしたよ(笑)。

—なんだか、早川さんの別の面を見たような気がします。

早川 図書室も、研究所もそうですけれど、長く続けてこそなんですよ。私のいた図書室でも無くなってしまったところもあります。長く続けるにはきちんと資金を獲得しなければいけないし、資金を獲得した成果をみなさんにお渡しできるようにしていないといけないと思いますね。

—南山さんはいつ南極にも行かれたんですか?

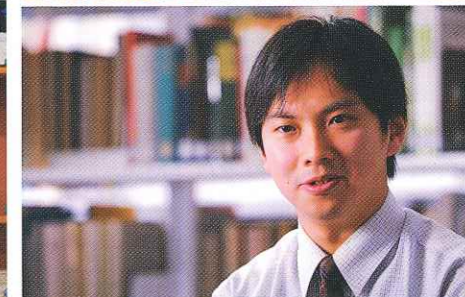
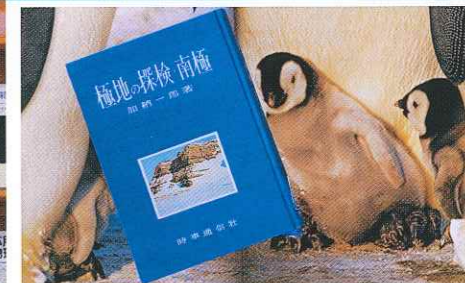
南山 2007年の11月から4ヶ月。夏隊の庶務です。

—司書として極地研に就職されて、5年。観測隊員になることは可能なのですか?

南山 機械や調理、医療や研究観測など、高い専門性を持った人や、学術機関の職員であれば可能性があります。極地研の職員もそうですね。あとは、体力が必要ですから、それが(選ばれる上で)よかったのかもしれません。向こうは白夜なのでずっと働き詰めというのが大変でしたね。

—良かったことは?

南山 物事に対する感覚が変わりましたね。大きな視野に立って見られるようになったと思いますか。直接仕事に関わることとしては、い



ろいろな職業の方と接したので、図書室の利用者に対する視点が変わりました。

—どうしてこの職業を選ばれたのですか?

南山 もともと本が好きだった、とやっぱりこうなりますね(笑)。司書はだいたいみんなそうだと思います。本に囲まれることが好きですね。ネットでは味わえない、触って読めるという感覚も好きです。

—それにしても声が小さいですね。今までインタビューさせていただいた極地研の方々とは全然違う……

南山 それはそうですね。隊員は声の大きいですからね。庶務の時は大変でした(笑)。

—この図書室のすごいところを教えてくださいませんか?

南山 日本の極地観測のデータベースとして図書室があると思うのですが、そのデータベースという観点からすると、極域に関して網羅的に蒐集している図書室はここしかないという点です。1910年代からの極地観測についてのものを、つまり歴史的価値もあるもの一通り揃えてもっています。そのような図書室でないと、諸外国の極地研究所と共同したデータベース作成を担当できない。極域観測を諸外国と協力してやるという上で、資料の一次的集積地になれるのはここしかないということなんです。

—それってすごいことじゃないですか。

南山 すごくことだと思います。他の国ではここにしかないという資料でも、うちにはあつたりしますから。日本国内で極域に関することでしたら、まずうちに来てもらえば、わざわざ外国に行かなくてもすんでしまうということも多々あります。

—南山さんはどんな風にストレス解消しているのですか?

南山 ストレス……。ストレス解消は合気道ですかね。大学の時から続けているので10年近くになります。あとは本を読むことでしょうか。

春を探して

二月といえば、すぐに立春が来るので早春のイメージなのだが、少なくとも関東では、どか雪が続けて降る頃でもあって寒さは厳しい。

俳句の季語でいえば「冴え返る」とか「春寒し」。ぬくぬくとした毛糸の手袋や帽子、ふかふかのセーターも、立春の日からは「春帽子」「春手套」「春セーター」などと呼ぶ慣わしだ。

私たちはたとえどんなに寒くても、吟行となれば季節はずれの雪だるまのように着ぶくれて、玉川上水の緑道を歩く。俳句手帖を片手に、歳時記や図鑑をデイベックに、何か春らしいものを見つけて出ようと、上を見たり下を見たりしながら進む。

「ああ、こんなにくらんで来た！」指さした先には立川市の木でもある辛夷(こぶし)の芽が白銀に輝いていた。美しい毛皮に守られているのだ。

よく観察してみると、冬の間、葉を落とし切った裸木(葉を落とした冬の木をこう呼ぶ)になつていた落葉樹は、いつの間にか芽をふくらませ、もう芽吹いているものもある。

「春なんだね」とうなずきあう。「そこ、滑るよ、気をつけて！」

畑との境目はすこし傾斜していて霜がとけると滑りやすい。ポケットに手を入れたりしていると、見事に転倒する。さすがに季語にはなつてないけど、これまた春らしい。強いてい

えば「春の泥」かも。(泥で真っ黒になつたお尻を隠しながらすすぐこと帰つたことが何度もあるのだ、実は)。「ねえ、梅の匂いがしない？」

「そういえば、うちの方では咲いてるわ」吟行では目も働かせるが、鼻もよく使う。

「こっちかしら」鼻をアンテナにして住宅地の方へぞろぞろと方向転換をする。

「あつたー！黄色い梅」ええっ？ どれどれ。「これは梅は梅でもロウバイ」

「これは梅は梅でもロウバイ」臘梅(ろうばい)は、一月の花として、冬の季語になつている。春の兆しをいち早く告げてくれる花で、新春にふさわしい上品な明るさと、梅に似た香りがあるが梅とは別種。二月の初旬にはまだ咲き残っている。



イラスト:小林木造

転換して進むと、幸町団地の角の林の一角に梅林を見つけた。かつては梅の実を収穫していたのだろう。整然と梅の木が並んでいて、剪定された様子もなくちよつと荒れている。その枯れ色の中にちらほらと白い花がほころんで香っていたのだ。大きな農家の名残なのかもしれない。

去年の落葉を踏んで林に入ると、小さな鳥たちがぱつと飛び立った。「あつ、ウグイス！」

ちがうちがう、あれはメジロとカラビワ。もうじき群れを解いて、賑やかにさえずり始めるよ。

鳴き声のすこし上手に梅ひらく北川比沙子

街の話題

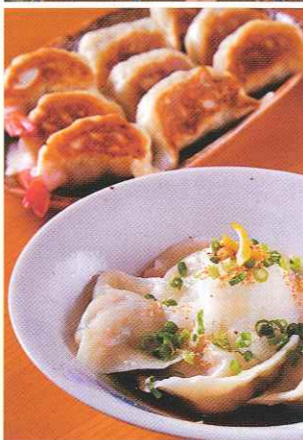
柴崎町〈ぎょうぎ工房〉発「ソムリエになりました！」

今年のソムリエ試験にみごと合格したのは、柴崎町3丁目にある〈ぎょうぎ工房〉の奥様 古賀千織さん。富士見町にある〈エスポアおぎの〉の和飲学園5期生です。〈エスポアおぎの〉と言えば、萩野博之さんはワインアドバイザー日本一の栄誉をもつ方。立川はワインでもすばらしい方々を生んでいます。

ソムリエ試験はワインを取り囲むすべてのことを勉強していないとなかなか合格しない。世界の地理から歴史から、ぶどうの品種や産地はもちろん公衆衛生までが問題になります。1次試験に合格しても、さらに大変なのは2次試験。口答試験、テイステイング、さらに実技試験。「普段から高級なものや横文字に接しているホテルマンやスチュワーデスならいざしらず、こちらはぎょうぎですから(笑)。マルゴーやラトゥールを扱う実技なんて、とてもとても。毎晩主人を相手に練習しました」と古賀さん。

ところで、ぎょうぎとワインの相性は? 「和風のぎょうぎなのでワインに合うとは思いますが」とおっしゃいます。試しにいただいませうか。大根おろしとポン酢で食べる茹でぎょうぎ。あ、なるほど。もっちりした手作りの皮に野菜がぎゅつとつまっている感じ。旨味が閉じ込められていて、それだけでもとってもおいしい。大根おろしにからめると、さらにさっぱりいただけます。白ワインなら野菜の旨味が引き出せそう。蒸し野菜とぎょうぎにワイン。今日はこれで決まりでしょう!

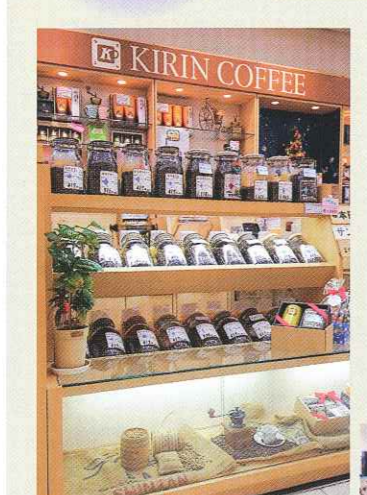
●ぎょうぎ工房 柴崎町3-11-25 042-522-4770



ぎょうぎ工房の人気メニュー(焼き焼きセット)〈ぼん酢おろしぎょうぎ〉

Table with 2 columns: Location (e.g., 上砂町, 砂川町) and Shop Name/Address/Phone Number.

この人この店 (79) キリン珈琲立川店 佐野 愛さん 平嶋 歩さん



駅ビルにお店を開いて20数年。キリン珈琲は立川駅に一番近いコーヒー豆店。えくてびあんもお店に置いていただき、長いおつきあいになりました。店頭焙煎を始めたのは7年前。コーヒー豆は生きています。鮮度を保つため、あえて小さいストッカーを使用。回転をよくして常においしい味をお客様にお渡します。コーヒーインストラクターでもある店長の梶原晏弘さんやスタッフが、お客様の好みの味を探してお手伝いをしてくれます。四季のイメージを味覚に表すオリジナルブレンドも試してみたいし、インドやベトナム産の豆も気になります。店頭では今週のおすすめコーヒーがいい香りの試飲も可。気に入った豆は生豆から店頭焙煎してもらい、好みの豆をブレンドしてもらうことも。コーヒー通の通う店。ルミネ立川店の1階です。

平嶋 歩さん 佐野 愛さん ●〒190-0012 立川市曙町 2-1-1 ルミネ立川1階 ●TEL 042-527-2322 ●営業時間 ルミネ立川店の営業時間に準じます。▶多摩てばこネット(お店のコーナー)にも掲載中。

Advertisement for jorakugajo (真如苑提供番組) with website URL www.shinnyo-en.or.jp

Advertisement for ValueUp (お客さまの声は、たましんの力) with website URL http://www.tamashin.jp

かたこと
にこやかに寅年を迎えてのえくてびあん2月号。真夏の南極大陸で働く観測隊からは、おもしろいレポートが届いています。「白夜だから働きっぱなしです」と極地研図書館司書、南山さんはおっしゃっていました。多摩てばこネットのブログ(ペンギン村からこんには)はそんな話を南極から綴ってもらっています。えくてびあんは今年も立川の元気と活気をお届けします。どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。スタッフ一同

Advertisement for Tamatebako (立川・多摩の話題いっぱい!) with website URL www.tamatebakonet.jp/ and QR code.

Advertisement for artist 坂本喜代美 (Sakamoto Yuki) with contact information and a photo.

えくてびあん (c) 2月号 第28巻 通巻303号 平成22年2月1日発行
発行 有限会社 えくてびあん 〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F TEL. 042-528-0082 FAX. 042-528-0065 URL www.tamatebakonet.jp
編集スタッフ デザイン 大久保清志/清水恵美子/中 薫子 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES) AMMNET design factory 五来孝平/中村 伸 写真 スタイリスト 小川町子 印刷 株式会社 大廣社
無断転載を禁じます。



プリンセスとパン

映画『マリー・アントワネット』ソフィア・ Coppola監督

「パンがなければお菓子を食えばいいじゃない。」というマリー・アントワネットの有名な発言は、正しくは“お菓子”ではなく“プリオッシュ”であったとされています。

バターや卵をたっぷり使って作られるプリオッシュは、お菓子のように形も愛らしくリッチな味わい。貧困に苦しむ当時の民衆には手の届かないものだったのでしょう。

ソフィア・ Coppola監督のこの映画の中では、問

題の発言はアントワネットの浪費ぶりを批判するため捏造した記事の見出しとして登場します。その記事を見てアントワネットは意にも介さず「私そんなこと言っていないわ。」と。事の真偽は謎ですが、気軽にプリオッシュを食べられるようになった今の時代の日本に生まれてこれた私は幸せだなあとつくづく感じます。

ブリistol・ジャポン株式会社 営業 中瀬 美紀子
<http://www.bristol-japan.co.jp>

今月のパン

ベーカリーカフェ ムッシュイワン

川崎市若葉町 1-7-1 TEL 042-538-7233 <http://www.ivan.shop-site.jp>
